

### ◇全体での議論

当日参加者から出された意見と、事務局から回答の一部を紹介します。

**Q** 道路・交通について：それぞれ管理しているところ（都や市）が違いますが、市民会議の提言をいかすことができますか？大きな中央分離帯の利用などができるのであれば、防災のことも考えてきちんとデザインして欲しい。

**A** 都の管理下にあるものに対しては、稲城市として要望を出すことはできます。

- ・雪が降ったら通れなくなってしまうような道ではなく、トンネルをつくって欲しい！
- ・一部の地域だけでなく、稲城全体のことを考えて欲しい！！

#### 稲城市として・・・

トンネルを通して、自家用車が行き来できて便利×

⇒ **自家用車を持っていなくても、平尾に住んでいても便利**◎

### ◇欠席者からも、意見提出がありました

「将来都市像について。第1次から3次まで、『緑につつまれ 友愛に満ちた 市民のまち 稲城』とあります。もし今回も今までと同じものにするならば、稲城市には変化も成長も期待されてないと思わざるをえない。」というものでした。

当日参加者から出された意見の一部を紹介します。

○稲城は100年に渡ってずっと緑が大切だという姿勢に一貫性があると思う。10年20年で変えてしまえば、逆に意味がないのではないか。

○「緑」という言葉は永遠に残して欲しい。そのあとに続くことばに“稲城らしさ”が欲しい。

○今までの将来都市像はどこのまちにも当てはまってしまう。もっと稲城らしさや個性、インパクトが欲しい。

例えば・・・近江八幡：死に甲斐のあるまち

ハワイ：大地の生命は正義によって保持される

### ◇終了直前に簡単な分科会案ができました

- ①みどり、交通・・・都市基盤関係
- ②子育て・教育、医療・福祉
- ③コミュニティ、安全・安心・防災

※産業についてはどの分科会にも関わってくるのではないかとということで、分類はされませんでした。

|          | 豊水 | 稲城 | 新高 |
|----------|----|----|----|
| みどり      | ○  | ○  | ○  |
| 安全・安心・防災 | ○  | ○  |    |
| 子育て・教育   | ○  | ○  | ○  |
| 病院・医療    |    | ○  | ○  |
| 交通       | ○  | ○  | ○  |
| コミュニティ   | ○  | ○  | ○  |
| 産業       | ○  | ○  |    |

### 次回の市民会議

次回の市民会議は、10月9日(木)の19時から地域振興プラザで開催いたします。各分散会で出された「将来都市像および基本目標」を全体会で1つにまとめ、分科会の編成を議論します。



稲城の特産品：梨

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議 市民会議だより



※お問い合わせ※

稲城市企画部長期総合計画担当  
☎206-8601 稲城市東長沼 2111  
☎042-378-2111 内線 537



稲城の特産品：ぶどう

平成20年9月

第4号

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議

# 市民会議だより



(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議の第4回会議を9月27日(土曜日)に開きました。豊水グループは都合により、9月30日(火曜日)に会議を行いました。

前回に引き続き「将来都市像と基本目標の検討」というテーマでより具体的に議論が行われ、今後の分科会の設置に向けて基本目標を以下のように分類する案が出されました。

- ① みどり、交通
- ② 子育て・教育、医療・福祉
- ③ コミュニティ、安全・安心・防災

## 第4回 市民会議を開催しました

9月27日(土)、稲城市役所6階会議室において第4回(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議を開催しました。

出席者が少なかったため、分散会の形はとらずに1つのグループで討論が行われました。

分散会各グループの代表者より、前回のフリー討論の報告がされ、これに関する質疑応答・意見交換が行われました。少人数ということもあり、グループ間での意見交換が活発に行われ、各グループの意見や考え方をより深く理解することが出来る会議になりました。

都合により、豊水グループのみ9月30日(火)の開催となりました。27日の討論の結果をもとに、豊水グループとしての意見が話し合われました。出席者:9月27日8名 9月30日5名



【前回の議論では】

### グループ豊水

#### ①計画の基調について

##### ・成熟型計画

→人口増加をめざすより、生活の質を重視した成熟型計画を

#### ②みどりについて

##### ・みどりにつつまれたまち

→自然のみどりの保全と(計画的)緑化が必要

農地がどんどん縮小してしまう/今ある農地を集約すべきでは

##### ・手入れの悪い人工のみどり(雑草だらけなど)が多い

→きちんと管理できないなら、ない方がマシなのではないか

#### ③高齢者・障害者について

##### ・高齢者・障害者が暮らしやすいまち

→お年寄りの一人暮らし、障害者がひとりになった時どうするか

#### ④子育て・教育について

##### ・若い人が定着するまちをつくりたい

##### ・“子育てしやすいまち”という特徴づくり

→みんなに知られば自然に人が集まるのではないかと

#### ⑤地域コミュニティについて

##### ・地域コミュニティ(ソフト)が重要

→子どもたちの安全・安心のためにも

##### ・防災・防犯のために情報の共有をしたらどうか

→要援護者名簿など

#### ⑥交通について

##### ・交通の便が悪い地域の交通網の整備をして欲しい

【前回の議論では】

### グループ新高

#### ①人口について

##### ・自然増・空き部屋対策は望ましい

→誰もが反対しなかった意見(開発による増加は賛否が予想)

##### ・住みたいまちであれば自然に増える

##### ・産院・小児科・保育所・学校などの魅力は重要

#### ②みどりについて

##### ・「緑」の保全は重要

##### ・きれいな空気は重要

#### ③市立病院について

##### ・基本的施設は重要

→交通の便が悪い、魅力ある病院として整備をして欲しい

#### ④商店街について:今あるものの利用

##### ・安全なまちの基盤、アクセス整備(駐車場)

#### ⑤サークル活動・ボランティア活動

##### ・箱ものの活用/参加しやすいものに

##### ・行政を補う市民の活動が重要/きっかけづくりに市の協力も

#### ⑥基本計画について

##### ・現行計画が市民に知られていない

→具体的施策の達成状況を説明してもらいたい

Q. 商店街はある地域とない地域がありますが、ニュータウンなどにも“新たにつくろう!”ということですか?

A. 新たにつくるという積極的な意見ではありません。商店街は個人の商店が多いので、普段から小さなことにも目が届いている。子どもにとっても『安心なまち』につながるのではないのでしょうか。個人的には駅の乗り換えのとき、駅と駅の間を結ぶ商店街があると思います。

A. 近年のゴルフ場の農薬は、そんなに強くないと聞いています。ゴルフ場にも生態系があるくらいだという論文もあります。多摩弾薬庫跡地については、自由に出入りが出来ないため、野生の緑がたくさん残っているとも言えるのではないのでしょうか。どちらも稲城の特徴になり得る施設だと思います。

### グループ稲城

【前回の議論では】

#### ①宅地開発について

##### ・もう宅地開発はしない

→これ以上人口が増えるのは望ましくない、農地が守られて欲しい

#### ②みどりについて

##### ・緑地をきちんと手入れする

→「入れない緑地」(多摩弾薬庫跡等)にも市民が入れるようにしてほしい

緑地の管理が市民の娯楽となるようにしたい

#### ③産業・働く場について

##### ・市内に働く場所が増えて欲しい

##### ・「道の駅」のようなものをつくり、市内の物産を販売して欲しい

#### ④交通について

##### ・自家用車がなくても困らないまちに

→市内の交通網にまとまり、市民バスなど細かい整備をして欲しい

##### ・歩道の整備

→特に幹線道路(ランド坂通り・鶴川街道等)は危険

##### ・自転車専用レーンの整備

#### ⑤子育てについて

##### ・本当に子育てがしやすいまちに

→社会的性別(ジェンダー)に左右されない市民生活の実現  
育児へのサポート(特に病児保育)の問題の解決

##### ・若葉台小学校の過密状況の改善

#### ⑥防災について

##### ・災害に強いまちに

→電線地中化/南山の崖地整備/幹線道路の強化  
多摩川のスーパー堤防化推進/三沢川の排水能力強化

#### ⑦地域・コミュニティについて

##### ・豊かな地域コミュニティを育てる

→地域コミュニティが豊かに、さらに緊密になって欲しい  
古くから人が住んでる地区の良いところを見習う

Q. 『宅地開発をしない』というのは、農地や山を潰してまでは開発しないということですか?

A. そうです。新たに土地をつくらなくても、空地や空家がたくさんあるので、その利用を考えてほしい。

Q. ゴルフ場や多摩弾薬庫跡地も緑地として考えますか?  
A. ゴルフ場は農薬をたくさん使うので、環境汚染とを感じる人も多いのではないのでしょうか。

### ◇質疑応答から

当日参加者から出された各グループへの質疑と、その回答の一部を紹介します。

Q. 『若者が定着するまち』とありますが、稲城で育った人たちが他のまちへ移っても、よそから若い人たちが入って来れば良いということですか?

A. そうではなく、他のまちへも出て行かないでほしい、代々稲城に住んでほしいということです